

令和8年度沖縄県地域外交人材育成事業

参加者募集要項

1. 事業の目的

県内高校生及び大学生を海外目的地に派遣し、各地における公的機関、平和・経済・国際協力等に関する施設訪問などにより、現地の歴史や状況、考え方を理解し、沖縄との相違を認識したうえで、沖縄県地域外交基本方針に掲げる3つの分野（国際平和創造拠点、グローバルビジネス共創拠点、国際協力・貢献拠点）において国際社会に貢献する次世代の人材を育成することを目的としております。

2. 派遣地域・テーマ

◎派遣地域：①韓国済州特別自治道

②米国ハワイ州

③米国サイパン・グアム

※派遣先の希望については別添様式2に記載してください。

◎主なテーマ：沖縄県地域外交基本方針に掲げる3つの分野において国際社会に貢献する人材の育成

3. 派遣時期・期間

①韓国済州特別自治道 令和8年6月24日前後（予定）（4～5日程度）

②米国ハワイ州 令和8年8月～10月（予定）（7日程度）

③米国サイパン・グアム 令和8年8月～10月（予定）（7日程度）

4. プログラム内容（予定）

	主なプログラム（予定）
事前学習	5月下旬～渡航時期までに3回程度（オンライン含む）実施する。 【済州特別自治道】5月～6月 【ハワイ、グアム、サイパン】5～6月、7月～8月 (ア) 沖縄県の地域外交に関する取組等 (イ) 現地の歴史、産業、訪問先の情報等 (ウ) 訪問先での発言内容の確認等
派遣中	対象者を上記2のいずれかの地域に派遣し、以下の活動を行う。 (ア) 派遣地域の歴史、環境などを踏まえて、沖縄県が直面する社会的、経済的、安全保障などにおける課題、未来について、現地の識者や現地学生等との交流を行う。 (イ) 現地の公的機関、平和・経済・国際協力等に関する施設等を訪問し、派遣地域における歴史や平和への考え方など、現在抱えている課題について理解する。 (ウ) 現地の生活環境の視察・体験や沖縄の紹介等交流の取組を通して相互理解を促進する。
事後学習	派遣地域での体験、交流及び視察等を通じた内容を振り返るとともに、沖縄県と比較しながらそれぞれの課題やその解決について沖縄県がどのように関与できるか（貢献できるか）についてグループ毎にまとめ成果報告会に向けた準備等を行う。 事後研修は帰国後、2回程度実施する。

成果報告会	事前学習、派遣、事後学習を通してまとめた内容を、成果報告会において県に対して施策提案として発表する。
-------	--

- ※ 上記プログラムは現在検討中であり、決定事項ではありません。
- ※ プログラム中はグループ行動を行い、ロジコーディネーターや県職員らが沖縄から同行します。
- ※ 宿泊は複数名での相部屋となります。

5. 募集対象・人数

沖縄県内に在住しており、令和8年4月現在、高校1年生、高校2年生、大学1年生および大学2年生を対象とし、募集人数は下記のとおりです。

- ① 韓国済州特別自治道 10名程度
- ② 米国ハワイ州 12名程度
- ③ 米国サイパン・グアム 12名程度

※ 高校生、大学生の割合については応募状況を鑑み決定いたします。

※ 上記人数は目安であり、前後する可能性があります。

6. 応募要件

- ① 沖縄の地域外交の取組に関心がある者（参考資料：沖縄県地域外交基本方針）
- ② 国内外の方と積極的にコミュニケーションを取り交流する意欲のある者
- ③ 他人の価値観を尊重し、集団生活が可能な者
- ④ 何事にも目標を持って行動し、広い視野を持って前向きに取り組む者
- ⑤ 事前研修から成果報告会までの全てのプログラムに参加できる者（全てのプログラムに耐える体力と精神力を持つ者）
- ⑥ 海外派遣の経験・成果を周囲の人々に伝えていく意思のある者

7. 応募方法等

(1) 応募書類

- ① 推薦書（様式1）
- ② 参加申込書（様式2）
- ③ 作文

『派遣を通して何を得て、どのように活かしていきたいか』を題として、あなたの考えを自由に記述してください。作文は、パソコンを用いてA4用紙に横書き・800字以内で作成してください。パソコンでの作成が難しい場合は原稿用紙に手書きでも構いません。

(2) 提出期限

令和8年4月27日（月）必着

(3) 送付先

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 沖縄県知事公室平和・地域外交推進課

※ 応募書類は必ず簡易書留郵便により郵送して下さい。持参による出願は原則認めません。

※ 提出された資料は、参加者の選考のために使用するほか、プログラム運営に使用します。また、それらの情報は、前述の理由により委託業者、派遣地域等の関係者に提供することがあります。収集した情報は、使用目的の範囲内で適切に取り扱います。

※ 提出された応募書類の返却は対応致しかねますので、あらかじめご了承ください。

8. 沖縄県による選考、通知方法等

(1) 選考方法

応募書類に基づく一次審査（書類）と二次審査（面接（書類審査合格者のみ））を経て、最終合格者を決定します。結果は担当教諭及び学校長あてに連絡します。

(2) 選考スケジュール

① 一次審査：令和8年4月30日（木）に結果通知予定。



② 二次審査：令和8年5月7日（木）～8日（金）、11日（月）～12日（火）の4日間のいずれかの日程で、オンライン面接を実施いたします。（1人15分程を想定）

※ 書類審査結果通知と合わせて詳細を連絡します。



③ 最終結果通知：令和8年5月18日（月）に、各学校長あてに通知予定。

※パスポートを持っていない方は、合格通知後に速やかにパスポートの申請を行っていただくようお願いいたします。

※入国時にパスポートの残存期限が90日を切っている場合も、更新が必要です。

(3) その他

① 面接はすべてオンラインでの実施を予定しております。オンライン面接にかかる応募者側の場所確保や通信料等は応募者の自己負担となります。

9. 費用及び保険

(1) 事前・事後研修及び成果報告会の参加にかかる費用

① 離島在住者は、最寄りの空港・港から那覇空港又は本島の港までの往復航空賃又は船賃を沖縄県の規定のに基づき県が負担します。ただし、自宅と最寄りの空港・港の往復交通費は参加者の自己負担となります。

② 離島在住者は、研修のため前泊又は後泊がやむを得ないと認められる場合、当該宿泊費の実費を県が1泊9,800円を上限に負担することができます（領収証の提出が必要）。

③ 研修時及び成果報告会時の食費は自己負担となります。

(2) 派遣期間中にかかる費用

① 往復の航空賃（離島地域からの航空賃含む）、宿泊費、海外旅行保険及び現地体験参加費など、プログラムを進める上で必要となる費用は沖縄県が負担します。

※離島在住者が那覇空港又は港の発着時間により前泊及び後泊が発生する場合は、当該宿泊費の実費を県が1泊9,800円を上限に負担することができます（領収証の提出が必要）。離島在住者で本島内の親族宅等に宿泊可能な場合は、県の費用負担はありません。

② 以下の項目は参加者の自己負担となります。

- ・パスポート取得費
- ・Wi-Fi 機器賃借料、eSIM 利用料
- ・滞在中の食費（①韓国済州特別自治道3万円程度、②米国ハワイ州6万円程度、③米国サイパン・グアム6万円程度）
- ・現地での土産品等の購入費

10. プログラム終了後のアンケートへの回答について

- (1) 本事業参加者に対して派遣後に当事業に関するアンケートを実施しますので、ご回答をお願いいたします。

11. 問い合わせ

応募要件、選考方法等について不明な点があれば、下記にお問い合わせください。

沖縄県知事公室平和・地域外交推進課

E-mail: aa071706@pref.okinawa.lg.jp